

普及活動情勢報告（令和元年 8 月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

実証成果の普及を目指して！ ～平成31園芸年度試験展示圃成績発表会～



実証結果を発表する普及課職員

7月29日、JA高知県あき支所で試験展示圃成績発表会を開催し、72人（うち生産者26人）が出席しました。

農業改良普及課は、環境制御技術や病害防除についての実証結果計7事例を発表しました。

出席者からは、「ナスは疎植栽培で作業性が向上し、炭酸ガス施用と栽培管理をしっかりと行うことで収量も上がった」、「多くの生産者が導入している加温機で病害防除ができるならば非常にメリットが大きい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も実証結果を各地区の品目部会等で広く周知するなど、生産者の経営向上に貢献できる技術の普及に取り組めます。

オクラの生産性向上に向けて！～令和元年度オクラ品目別現地検討会in中芸～



ほ場で情報交換する参加者

7月31日、中芸地区で県域のオクラ品目別現地検討会が開催され、生産者12人を含む26人が参加しました。

はじめに中芸集出荷場で選果状況を視察し、3カ所の栽培ほ場で現地検討した後、奈半利支所で情報交換しました。

農業改良普及課は管内の概要や取り組み状況を説明し、各地域からは収穫量やイボ果の発生といった生育状況などについて情報提供されました。

生産者からは「農薬散布にドローンが活用できないか」などの質問があり、関係機関からは「数値で生育判断ができるような指標ができれば」という提案もありました。

農業改良普及課は、今後もオクラを有望な露地品目として生産の拡大に努めます。

今作もいよいよスタート。目指せ収量アップ！

～安芸支部園芸部園芸研究会 青年部会～



ナスの栽培管理について
情報提供を行う普及指導員

8月14日、安芸支部園芸部園芸研究会青年部会勉強会が安芸集出荷場会議室で開催され、生産者7人が参加しました。

農業改良普及課からは、青年部大阪市場での視察報告、ナスの定植後の栽培管理、ミョウガの栽培管理について情報提供しました。

ナスの栽培管理については、マルチの張り方などの質問もあり、初期の管理についてポイントを生産者皆で再確認できました。また、生産者からも「今年は去年よりナスを取る」といった前向きな意見が聞けました。

農業改良普及課は、今後も部会活動や個別巡回を通じて、若手生産者を支援します。

GAPと土壌肥料について学ぼう ～第2回農業基礎研修講座～



GAPについて説明する普及指導員

農業改良普及課では就農5年目までの新規就農者等を対象に、農業の基礎的な栽培管理についての講座を開催しています。

8月8日、安芸総合庁舎で第2回農業基礎研修講座を開催し、新規就農者等14人が参加しました。今回は「GAPについて」、「土壌肥料の基礎知識について」をテーマに講義を行いました。

参加者は熱心に講義を聞き、「事故を起こして他人に迷惑をかけるためにもGAPに取り組みたい」、「土づくりや肥料の重要性がよく分かった」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も毎月講座を開催し、新規就農者を支援します。

果実肥大および優良系統の樹体調査を開始しました



肥大調査の様子

農業改良普及課では、JA高知県と連携して今年度の果実肥大調査をしています。8月1日時点の肥大は平年よりもやや大きく、前年並みでした。調査データは生育状況を把握するとともに、出荷予測の参考にします。

また、優良系統の樹体調査も実施しています。ユズは樹勢や果実品質（こはん症や小玉化）の低下を招くカンキツトリステザウイルス（アブラムシによって媒介）に感染しやすいので、毎年、枝を採取して感染していないか確認する必要があります。調査後は健全な樹から苗木育成用の穂木を採取していきます。

農業改良普及課は、今後もユズ生産者に情報提供と健全な苗木を供給できるよう、取り組みます。